

＜白金標準先物、サプライチェーンの混乱を嫌気した値動き・・・＞



(出所：オアシス)

米国政府は、ロシア産アルミニウムに対する制裁関税を 200%に引き上げる発表を行っている。特にロシア産アルミニウムを使用した製品にも関税を掛ける事からサプライチェーンの混乱を嫌気した売りで非鉄金属は下落している。またアルミニウムはプラチナ需要の多い自動車産業に悪影響を与える可能性があるとの思惑で週末の NY 白金は 906.3 ドルまで大きく反落している。しかしロシア政府は米国政府に対抗してノリリスク・ニッケルの PGM 輸出を禁止する処置が予想される。特に米国のパラジウム輸入の 35%がロシア産であり、消費を補うためプラチナへの代替が進む可能性も秘めている。

しかし世界のプラチナ生産の 7 割を占める南アフリカでは、電力不足が深刻化を見せており、先週水曜日には長雨に伴う石炭不足と老朽化した火力発電ユニットの故障から今までにない「ステージ 7」の負荷制限を行うなど鉱山稼働率は停止する規模でもある。

特に 2020 年以降、NY 白金で 900 ドルを下回るケースは世界的なロックダウンと中国上海市の 2 ヶ月間のロックダウンが存在するが、何れも 1000 ドルを超える上昇に結び付いている。また 3 月 8 日には WPIC の需給報告が予定され、10 日の雇用統計が控えるなど雇用環境が低下すると急速な巻き戻しを示してもおかしくない状況と思える。

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が **シグナル** を上回る強気のクロスを示しており、RCI は **短期** が高値で推移しながら、**長期** は徐々に切り上げている。また **10 日移動平均線** が下げ渋る中で日足が **10 日移動平均線** を一時的に上回るなど、売られ過ぎの反応もあり、4000 円の抵抗を示す値動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 4,500,000 円(2023 年 2 月 27 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円(2023 年 2 月 27 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>